

「第4回 「えびの大規模氾濫等減災協議会」 開催

えびの市、気象庁、県等が連携・協力し、えびの市内の川内川水系河川における減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として平成29年5月31日設置した「えびの大規模氾濫等減災協議会」の第4回協議会を開催しました。

今回の協議会では、川内川流域等県管理区間の減災に係る取組方針についてのフォローアップ及び各機関の取組事例紹介を行いました。

開催概要

- 日時：令和元年6月13日（水）
- 会場：いきいきくりの郷
（鹿児島県湧水町）

議事内容

- ・ えびの大規模氾濫等減災協議会で決定した取組み方針についてのフォローアップ
- ・ 各機関の取組事例紹介
（評価）
- ・ 全機関で概ね積極的に取組みが進められている。
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定がかなり進んでいるが、今後は最大規模の洪水に係る浸水想定区域等の設定に合わせて、ハザードマップ改訂等の取組みを推進する必要がある。

委員の方の主な発言

- ・ 特に意見はなかった。



協議会の出席者

所属	役職	氏名	代理出席
宮崎地方気象台	台長	吉松 和義	
えびの市	市長	村岡 隆明	課長 黒木良二
川内川河川事務所 (アドバイザー)	専門官	川崎 裕次	
宮崎県 河川課	課長	高橋健一郎	副主幹 田邊 亮
宮崎県 砂防課	課長	原口 耕治	課長補佐 永友 教治
宮崎県 小林土木事務所	所長	高橋 秀人	

※ 今回は、令和元年度川内川大規模氾濫等減災協議会と同時開催しました。